

大阪労連・東日本大震災対策本部ニュース

NO.16 2011年 4月19日

発行：〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

大阪労連・東日本大震災対策本部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

東日本大震災で堺市と懇談

4月15日に堺市役所で「東日本大震災」に関わったの懇談を開催。堺市役所からは危機管理室など担当部署が対応しました。

堺市からは震災以降に職員の派遣など取り組んでいることの報告を受けました。その中で、被災地から避難されている方々が、たまたま市営住宅と府営住宅に避難される場所が違うだけで、貸与されているものが違うことが明らかになりました。府営住宅への避難者には家電製品が貸与されないの、堺市としてレンタルして貸与しているとことでした。

今田議長からは「関西電力への要請をぜひ行ってほしい」鈴木事務局次長からは「いざという時の避難場所になる学校の耐震化が、堺は遅れているので早急にとりくんで欲しい」など要望しました。

今回の要請には、堺労連から今田議長、坂元事務局局長はじめ5人の参加。大阪労連からは鈴木事務局次長、鴻村幹事が参加しました。



青年部長が5回連続のフル参加

門真市職労 街頭募金活動

門真市職労は13日、古川橋駅頭で募金活動を10人の参加で行いました。

この日も多くの市民の方からの募金が寄せられ、金額は32,576円でした。

これまで門真市職労は、4回の駅頭募金活動を行い、多くの組合員が参加し、たくさんの市民の方から募金が寄せられました。今回で5回目となりますが、そのすべてに青年部の部長が参加しています。青年部長は、「このたび、市職労の街頭募金活動にフル出場させていただきました。小さい子どもから、大人まで募金してくれて、僕もすがすがしい気持ちになりました。ご協力してくださった皆様に感謝しています」と語っています。



駅頭で支援を訴える難波青年部長

東日本大震災の被災地への支援物資の集中「中止」のお知らせ

全労連と全国災対連の「共同支援センター」への支援物資の集中は、当面「中止」とすることとなりました。

理由として、「この間、全労連と全国災対連が共同して「共同支援センター」を通じて、被災地である岩手、宮城、福島に全国から寄せられた支援物資を送り届けてきました。全国からの支援物資はすでに1600ケースを超え、現地の要請との関係では「流通センター」に大量の物資が滞留した状態となっています。現地の要請にもとづいて、在庫分を送り届けていくこととし、当面の間、全国からの支援物資の集中は「中止」とさせていただきます。」と連絡がありました。

今後の対応は、大阪労連・大震災対策本部でも、同様の対応とさせていただきます。現在、各単産・地域で集めていただいている支援物資については、4月25日(月)までに、大阪労連までお届けください。★翌26日(火)には発送する予定で準備します。

各単産・地域での取り組みをお送り下さい。大阪労連・東日本大震災対策本部ニュースで紹介させていただきます。